



22世紀に緑の遺産を贈る
県民運動
にいがた「緑」の百年物語

令和4年度

事業報告書

事業年度

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

公益社団法人 にいがた緑の百年物語緑化推進委員会

II 令和4年度事業の実施について

1 令和4年度事業実施状況

当委員会は、「にいがた緑の百年物語県民運動」と「緑の募金」の事業推進について、公正、公平、透明性をもって取り組む。取り組むに当たっては、収支相償を財政運営の基本として、会員と緑の募金の拡大による財源の確保と予算執行の効率化を図り、円滑な組織・事業運営に努める。本年の事業実施は、新型コロナウイルスの感染防止に努め、新潟県、市町村等行政機関との連携を図りつつ、企業や緑化団体等広範な県民の協力を得ながら、以下に掲げる重点事項を中心として、地域組織の活動を推進する。緑の募金の浄財は、協賛企業・団体と共に、地域の拠点となる協働による森づくり、豪雨災害等被災地への緑の復興活動、次世代を担う子どもたちの育成、ボランティア団体の緑化活動等を助成・支援する。また、「にいがた緑の百年物語」県民運動の一層の推進を図り、これまで理解を得た県民の輪を更に広げ、子供から大人まで世代を超えた多くの理解を得ながら県民参加の森づくりを推進する。

○令和4年度の重点事項

- ①組織基盤の確立と地域活動の推進
- ②県民運動と緑の募金の普及啓発及び緑の遺産森づくりの推進
- ③次世代につなぐ県民参加の森づくりの推進
- ④心豊かな子供たちの育成とボランティア精神の醸成

(単位：千円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
1 組織基盤の確立と地域活動の推進	2,890	1,359	△1,531	
○緑の守人(会員)拡充強化	250	0	△250	
○地域活動の推進	2,640	1,359	△1,281	

会費収入及び会員加入状況について

・企業団体等を対象とした緑の募金活動と連携した法人会員の拡大、地域組織(地域連絡会議等)との連携による新規会員加入促進と要請活動を実施・展開中。

令和4年度会費目標額 : 11,000千円 (令和3年度実績額:9,778千円)

会費実績額(3月末現在) : 9,646千円 (目標達成率:87.6%)

表1 会費収入及び会員加入状況

(単位：千円、人)

区分	会費収入			会員数			備考
	計画A	実績B	B-A	計画A	実績B	B-A	
正会員	8,400	7,416	△984	600	546	△54	
賛助会員	2,600	2,230	△370	400	403	3	
合計	11,000	9,646	△1,354	1,000	949	△51	

(資料1:会員・会費収入別内訳)

(2) 地域活動の推進

- ・県内全域に設置した地域組織の活動強化を図る。
- ・地域緑化活動の先導役である地域推進員の活動を支援する。

(単位：千円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
2 県民運動及び緑の募金の普及啓発と緑の遺産森づくりの推進	11,160	3,632	△7,528	
○県民運動及び緑の募金の啓発活動	2,560	1,951	△609	
○緑の遺産森づくり及び植樹祭等の開催	6,100	0	△6,100	
○地域の森づくり	2,500	1,681	△819	

(1) 県民運動の普及啓発

会報やイベント情報、ホームページなどによる情報発信力を維持・強化し、県民運動の推進と啓発活動を実施。

- ① 情報の発信：タイトルの代替わり：「緑とともに生きる」から「森林を守る、森林を活かす」
 - ・会報誌：春号（新会報第21号） 「植えて、育てて、森林を活かす 春」
 - ：秋期（ " 第22号） 「植えて、育てて、森林を活かす 秋」 を発刊
 - ・イベント情報発行：春期88（80）件 秋期84（83）件掲載 ※（ ）は前年度実績
 - ・メディア（BSNラジオ サニーサイド）と連携し、緑化団体の活動情報を発信、併せて県民運動の啓発と会員募集活動を実施
 - ・ホームページ緑化活動マップ：ボランティア活動や県民運動の情報を提供
- ② 新発田地区緑化推進協議会再結成に向けた要望活動
 - ・日時・対象：令和4年9月中旬、胎内市長、新発田市長、阿賀野市長、聖籠町長
 - ・要望内容：新発田地域緑化推進協議会再結成に協力を要請
平山理事長が市長、町長に直接要請（同席は小林常務、鬼嶋理事、宮嶋地域推進員ほか）
新発田市五十公野公園で地域植樹祭開催、賛同者を以って再結成
- ③ ユーチューブ発信のため録画作成
 - ・次世代からの賛同、共鳴を得るため、にいがた「緑」の百年物語～20年間の歩み、そして未来へ～と題し、過去、現在、未来の活動に分け、令和4年12月19日に発信。

(2) 緑の遺産森づくり植樹活動の開催

- ① 卒寿の森づくり植樹活動
 - ・日時：令和4年10月4日（火）10：30～、場所：三条市下田地区大谷ダム上流
- ② 日本曹達グループの森づくり（上越市くわどり市民の森）
 - ・オリフィスの設置、ウワミズザクラ植樹、モミジ植樹、森林整備（11月13日今期閉園）

(3) 地域の森づくりの推進

県内各地域の地域組織が主体となり其々の地域で活動する団体と連携し、県民運動の啓発につながる地域の森づくり事業の実施支援。十日町市民協働の森づくり実行委員会による十日町市への引き渡し式開催（10月20日（木）平山理事長講演を併催）

(単位：千円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
3 次世代につなぐ県民参加の森づくりの推進	33,880	29,137	△4,743	
○各種団体からの受託事業等による緑化活動支援	1,950	0	△1,950	
○寄付金等によるにいがた森づくり事業	2,780	3,355	575	
○緑の募金による緑化助成事業（一般）	27,000	24,223	△2,777	
○緑の募金による企業の森づくり（特定）	2,000	1,444	△556	
○緑の募金による特定助成事業推進費（特定）	150	115	△35	

(1) 緑化活動の推進

各種団体等の受託事業や緑の募金、寄付金等を原資とした助成事業により、ボランティア団体等の森林整備活動及び緑化活動支援を実施中。また、企業等からの寄付金(使途限定緑の募金)を受け、企業等と地域との協働による「企業の森づくり」を推進中。

(2) 緑化助成事業の実施状況

事業名	事業内容	令和4年度実績	令和3年度実績	資料No.
ゴルファー緑化促進事業	(公社) ゴルフ緑化促進会交付金による助成事業	助成件数 1件	助成件数 1件	2-1
ボランティア保険料助成事業	緑化活動のボランティア保険料を助成	8件	14件	2-1
にいがた森づくり事業	啓発効果の高い森づくり事業	2件	1件	2-1
拠点の森づくり	地域の森づくりの拠点となる森林整備に助成	6件	6件	2-5
緑百年緑化助成事業小計		17件	22件	
「緑の募金」森づくり事業	学校林の整備や地域住民及び緑化団体等による森づくり活動を助成	96件	100件	2-2
「緑の募金」記念植樹事業	集会施設、公園等で地域住民が参加して行う記念植樹用苗木を助成	76件	80件	2-3
企業の森づくり事業	企業協賛募金による企業の森づくり及び企業協賛の森づくり事業	3件	2件	2-4
地域の森づくり事業	地域組織主体に構成団体と連携し、県民運動の啓発につながる活動を助成	6件	5件	2-6
緑の募金緑化助成事業小計		181件	187件	
緑化助成事業 計		198件	209件	

2023年度周知用チラシから抜粋

皆様からいただいた募金は、さまざまな活動の支援に使われています。令和4年度は、これまでに緑化・ボランティア団体をなど**204団体**の緑化活動へ助成を行いました。活動には**10,507人**が参加し、**計4,001本**の植樹や草刈り、間伐等の育樹が行われ、**約204ha**の森を整備することができました。また、緑の少年団・学校を対象に**計49団体**へ助成を行い、**2,133人**の子どもたちの緑化や自然体験活動を支援しました。このほか、現在も多数の団体が緑化活動を行っています。県民の皆様、ご協力誠にありがとうございました。(緑の募金成果報告から)

(3) 緑化助成事業の審査等について

- ・緑化助成事業審査会(地域の森づくり事業は除く)の開催状況
4月28日:第1回審査会(78件) 7月22日:第2回審査会(17件)
- ・審査状況:申請手続きや書類の不備、目的の妥当性、申請内容(植栽樹種、時期、資材の価格等)を重点に審査し、疑問な点は再確認し、必要な場合は訂正の上で採択。
- ・現地調査会の実施(参加者:審査会審査員5名及び事務局5名)
9月20日に長岡市、燕市、柏崎市の助成箇所を調査
調査内容は現地の状況、樹木の育成環境等

(単位:千円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
4 心豊かな子供たちの育成とボランティア精神の醸成	16,000	12,162	△3,838	
○緑の募金の普及啓発と募金活動の推進	9,000	8,930	△70	
○緑の少年団等の育成支援	7,000	3,232	△3,768	

(1) 緑の少年団の育成及び緑の学校の支援等

緑の少年団の結成や活動等の支援及び子供たちを対象とした緑の学校の開催を支援。

① 緑の少年団の育成

緑を愛する心豊かな少年・少女を育てることを目的として結成された緑の少年団の活動を支援。

※R4年度団員数：43団体、2,015名（前年比1人増、1団体減）

新型コロナウイルス感染防止対策等で中止した交流集会に代わり、希望する団体には、出前講座（木工教室）を開催

② 緑の学校支援

県と地域組織が連携して行う次代を担う子供たちを対象とした森林学習の機会の提供を目的に開催する「緑の学校」の支援を縮小。読売の森づくりを核とした子供新聞の配付17校

申請：4校（前年度：4校 参加人数74名）

(2) 活動支援事業等について

(単位:千円)

事業名	R3年度実績	R4年度実績	備考
結成支援事業	0	37	H28年度団員数：49団体：2,268名
活動支援事業	2,653	2,618	H29年度団員数：49団体：2,094名
交流集会事業	1,053	416	H30年度団員数：47団体：2,075名
緑の学校助成事業	198	209	R01年度団員数：45団体：2,061名
合計	3,904	3,280	R02年度団員数：44団体：2,067名 R03年度団員数：44団体：2,014名

2 「緑の募金」推進事業の実施状況

緑を守り育てる「にいがた緑の百年物語一木を植える県民運動一」に、県民の森林・緑に対する関心を結び付けながら、「緑の募金でふせごう地球温暖化」をテーマに掲げ、新潟県及び市町村と連携し、「緑の募金法」（平成7年5月8日制定）に基づく募金活動を展開した。

また、地域の緑化推進において拠点となる森づくりや次代を担う子ども達の育成を呼びかけ、県民参加の森づくりへの機運の醸成と併せて募金への協力を呼びかけた。全国の緑の募金（中央・都道府県）は新型コロナウイルス感染防止に伴う経済環境が厳しい状況にあり、令和4年は前年比108%と前年を上回る。これは、中央募金が前年比106%、都道府県募金が100%といずれも前年度同様善戦した結果を反映したもの。本県も対前年比102%超と善戦している。

(1) 緑の募金活動の実施

令和4年度緑の募金目標額	: 70,000 千円	(令和3年度実績額 : 60,153 千円)
令和4年度緑の募金現在額	: 62,798 千円	(対前年比 104.4%)

(緑の募金 集計：3月31日現在)

(単位：千円)

年度	家庭募金	家庭募金以外計	内 訳					募金総額
			学校	職場	企業	街頭	その他	
R3実績	45,910	14,243	2,330	4,096	6,738	79	998	60,153
R4実績	47,701	15,097	2,132	3,728	8,161	107	969	62,798
増減	1,791	854	△198	△368	1,423	28	△29	1,330
前年比%	103.9	106.0	91.5	91.0	121.1	135.4	97.1	104.4

資料2：令和4年度春秋期「緑の募金」市町村別実績表

① 春期「緑の募金」実施状況及び結果について

- ・家庭募金を柱に、学校募金、職場募金等の多様な募金活動を展開。ポスター・チラシ等募金資材の活用、広報誌等の普及啓発活動により、広く県民に対し運動の周知に努めた。
- ・家庭募金では新型コロナウイルスの感染防止のため、中止した燕市が秋期に実施。前年比104%と健闘。燕市が秋の募金を実施したことから、前年度を上回る見込み。
- ・学校募金、職場募金は前年比減。企業募金は企業の思惑や納金する時期により大きく動くなど不安定かつ厳しい状況が続くも健闘。全体では、前年同期比104%と善戦。

② 秋期緑の募金活動の実施について

9月1日から始まった秋期「緑の募金」は目標額を17,000千円とし、災害に強い森づくりや地域の拠点となる身近な森づくり、次の世代を担う子ども達の活動を支援するための募金運動に加えて、企業・団体等に対する協力要請やボランティア団体が主催するイベント等での募金活動を重点実施。

③ 緑の募金状況

R2年度から家庭募金の目安額を200円として周知し、お願いしたことから、本年度は、減少傾向(R3前年比104.4%)が止まった。

(2) 普及啓発活動の強化

平山理事長、協賛企業、ボランティア団体からのラジオ出演による呼びかけや各種イベントでの募金活動、ポスター・チラシ等の募金資材を活用したほか、新聞、ラジオCM放送、広報誌等の普及啓発活動により広く県民に対し運動の周知に努めた。また、ホームページの活用によるタイムリーな情報発信の強化を図った。

(褒賞事業) ※地方植樹祭・拠点の森づくり実施日で表彰

○緑化功労者表彰

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、あるいは豪雨災害の復旧対応に忙殺されているため、イベントが軒並み中止となった。このため、候補者の推薦はなかった。

○ポスター原画・標語コンクールの実施

- ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画・標語コンクール表彰

(原画の部)：優秀賞 新潟県立上越総合技術高等学校1年 関川敦也^{せきかわあつや}さんほか奨励賞12作品

(標語の部)：優秀賞 十日町市立下条中学校2年 小宮山夏稀^{こみやまなつき}さんほか奨励賞9作品

特選 (R5育樹運動ポスターに採用) 長岡市立大島中学校中山春花^{なかやまほるか}さん

(3) 国土緑化推進機構事業の活用

- ・緑の募金 SDGs 用途限定募金 (クラウドファンディング) (村上市松沢)
- ・子どもたちの未来の森づくり事業 (十日町市)
- ・日本曹達グループの森づくり (上越市)
- ・ゴルファー緑化事業 (十日町市美人林)